弘前市経営計画の評価について

1 弘前市経営計画の評価のプロセス

経営計画に位置づける各施策の弘前市経営計画4年間の総括及び次期総合計画の取組の方向性については、地域経営アンケートの結果、及び各事務事業の実績等を手掛かりに、これまでに得られた成果と残された課題を精査するとともに、現在の地域課題の状態の分析等を踏まえ、以下のとおり実施。

段 階	実 施 内 容								
(1) 市民の意向・ニーズ、施策満足度等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経営アンケート 【用途・目的】主に地域課題や取り組みの成果等の定量的な評価として実施 【実施日】平成30年4月18日(水)～5月14日(月) 【回収結果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者数(無作為抽出)</th> <th>回 答 者</th> <th>回 収 率</th> <th>未回答者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,560人</td> <td>2,276人</td> <td>89.6%</td> <td>264人</td> </tr> </tbody> </table>	対象者数(無作為抽出)	回 答 者	回 収 率	未回答者数	2,560人	2,276人	89.6%	264人
対象者数(無作為抽出)	回 答 者	回 収 率	未回答者数						
2,560人	2,276人	89.6%	264人						
(2) 一次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策主管部による一次評価 【実施内容】各施策の「事後評価(弘前市経営計画4年間の総括)」「地域課題等の分析」「次期総合計画の取組の方向性」 【実施日】平成30年6月27日(水)～7月27日(金) 								
(3) 二次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策について、市長ヒアリング及び総合計画審議会の意見・提言等を踏まえ、弘前市経営計画の計画期間4年間の達成度及び次期総合計画の取組の方向性について評価 								
① 市長ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・市長による評価 【実施内容】各施策の一次評価(「事後評価(弘前市経営計画4年間の総括)」「次期総合計画の取組の方向性)」を評価 【実施日】平成30年8月22日(水)・27日(月)・30日(木) 								
② 総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画審議会による評価 【実施内容】各施策の一次評価(「事後評価(弘前市経営計画4年間の総括)」「次期総合計画の取組の方向性)」に対する意見・提言等 【開催日】第1回：平成30年6月29日(金) 第2回：平成30年8月28日(火) 第3回：平成30年9月27日(木) 【まちづくり・なりわいづくり分科会】 平成30年9月28日(金) 【ひとづくり・くらしづくり分科会】 第4回：平成30年10月12日(金) 第5回：平成30年10月26日(金) 								

2 弘前市総合計画審議会による評価

(1) 弘前市総合計画審議会の開催

各施策の弘前市経営計画4年間の総括及び次期総合計画の取組の方向性に対する意見・提言等をいただくため、附属機関である「弘前市総合計画審議会」を合計5回開催。

なお、審議を効率的かつ充実させるため、第3回に関しては、「ひとづくり・くらしづくり分科会」と「まちづくり・なりわいづくり分科会」を設置し審議したほか、施策主管課ヒアリングを実施。

区 分	日 時	審 議 内 容
第1回 総合計画審議会	平成30年6月29日(金)	○平成30年度の審議会の進め方について ○次期弘前市総合計画の策定方針について
第2回 総合計画審議会	平成30年8月28日(火)	○経営計画マネジメントシステム評価の進め方について ○地方創生関係交付金事業の評価について
第3回 総合計画審議会	平成30年9月27日(木)	■まちづくり・なりわいづくり分科会 ○担当課ヒアリング ○各施策における成果と課題及び次期計画方向性について
	平成30年9月28日(金)	■ひとづくり・くらしづくり分科会 ○担当課ヒアリング ○各施策における成果と課題及び次期計画方向性について
第4回 総合計画審議会	平成30年10月12日(金)	○各施策における成果と課題及び次期計画方向性について【戦略推進システム・移住対策】 ○方創生関係交付金事業の評価について
第5回 総合計画審議会	平成30年10月26日(金)	○経営計画マネジメントシステム評価結果について ○次期弘前市総合計画骨子案について

(2) 弘前市総合計画審議会からの意見・提言

①分野別政策 ひとつづくり 意見・提言内容

No.	施策	意見・提言内容
1	【Ⅰ子育て】 婚活の応援	婚姻が進まない背景および原因として、とりわけ若い女性の低所得状況、働き方のあり方が大きい、むしろこちらの状況の改善に注力することが不可欠である。問題が大きくなってしまいが、そうしたとらえ方をしないとなかなか進まない。
2	【Ⅰ子育て】 経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯は、給食費や光熱費以外にもかかる経費が様々あるので、子どもを持つ家庭すべてが対象となるよう等、経済的負担の軽減はより大きな枠組みで考えるべき。財政にも限界があると思うので、取組に優先順位をつけて施策を検討していただきたい。 ・二次評価案にある『公平性』という言葉については、「貧しい人にだけ支援するのは『公平性』を欠く」といった別の意味合いで使用することもあり、誤解を招くので、二次評価案をより具体的な表現に置き換えるべきではないか。 ・教材費等の未納問題については、各家庭に費用負担の必要性や、行政が支援できる限界を理解していただくなど、各家庭の意識改革が必要ではないか。
3	【Ⅰ子育て】 子育て・子育てへの多様な応援	男女を問わず、子育て世代の働き方の改善を、経済界に強く要請してほしい、子育て応援企業認定件数が、目標が低すぎる。
4	【Ⅱ子どもの学び】 豊かな心を育成する教育活動の充実	「合宿による不登校・問題行動等改善プログラム事業」について、『問題行動』に代わる言葉を使用するのが個人の尊重につながると思う。
5	【Ⅱ子どもの学び】 健やかな体を育成する教育活動の充実	少年少女スポーツの活発化の課題をしっかりと当該施策に位置づけるべきである。少年少女スポーツの活性化、とくに学校での部活の抱える困難を解決する方策を扱うべきである。
6	【Ⅱ子どもの学び】 よくわかる授業づくりの推進 【Ⅱ子どもの学び】 学力の向上に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の指標が子どもへのアンケート結果になっているが、実際、子どもたちは想定外の回答をすることもあり、必ずしも正しい結果が出るわけではないので、単にアンケート結果だけでは指標の達成度を判断できないのではないか。 ・勉強を好きか嫌いかという質問では、子どもは「好き」と回答しなければならぬと思ってしまうことと、当該施策を評価するうえでは、実際に授業が分かりやすいかどうかという指標にすべきではないか。小学5年と中学2年とで「勉強が好きだ」と解答する比率が違う原因や、学年が上がるについて学力が低下する原因を分析してほしい。 ・小学校高学年は思春期に入ってくる時期でもあることから、アンケートに回答する際、先生への感情も含めて考える可能性もあるので、数値をそのまま評価はできないが、実際の結果ではあるので、指標として参考にする程度でよいのではないか。

No.	施策	意見・提言内容
7	【Ⅱ子どもの学び】 時代に対応する教育の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市として、学校教育と公民館などの社会教育の連携を推進していくのであれば、公民館職員の労働条件の改善が課題である。ただ事業をつくるのではなく、やり手側の整備など、やれる体制作りが必要。 ・一つ一つの事業はいい取組だが、例えば理科で大規模な実験をやっ て子どもたちの興味関心を引き付けても、それが理科離れの解決に寄 与しているかなど、それが子どもたちの今後はどうつながっていくか が大事である。当該施策は社会教育と連携して進めていただきたい。
8	【Ⅱ子どもの学び】 豊かな情操と夢を育む 事業の展開	<p>(事務局による評価シートの訂正あり)</p> <p>計画事業の評価がすべて A であるのに施策の評価は B であることや、 本当に事業評価が A でよいのかという視点で「妥当でない」という 判断をしたが、事務局による訂正により理解できた。ブックスタート 事業など 4 年間の途中で指定管理事業にしたものについては、その理 由や、市の事業ではなくなったため 3 年間のみでの総括にするか等、評 価の取扱いは次の課題である。</p>
9	【Ⅱ子どもの学び】 共生社会に向けた教育 基盤の確立	<p>指標が「特別支援教育支援員の配置人数」となっているが、配置が増 えたところで、児童生徒に適切な教育が確保されたとは言い難いので、 通級を希望した児童生徒の中で、きちんと通級指導が受けられた 人数を指標としてはどうか。</p>
10	【Ⅱ子どもの学び】 学習意欲を引き出す学 びの環境の確保	<p>当該施策は社会教育と連携して進めていただきたい。</p>
11	【Ⅲ多様な学び】 生涯学習推進体制の充 実	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施策は幼児、小学生を対象の事業が多く目につくような印象な ので、中学生にも目を向けた施策に取り組んでほしい。特に、スポー ツや文化・芸術の分野での取組に期待したい。 ・当該施策は社会教育と連携して進めていただきたい。
12	【Ⅲ多様な学び】 社会教育施設等の整備 と効果的な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく設置された「高岡の森歴史館」へは公共交通機関のアクセス がほとんどなく、車がなければほとんど利用できない。社会教育施設 等へのアクセスについても他部局と連携して検討してほしい。 ・図書館の指定管理制度導入については、他の自治体でも色々な問題 点が指摘されており、制度をやめているところもあるので、制度を継 続するのであれば、課題に加えて今後どういうことに留意して取り組 んでいくかを一次評価に記載すべき。
13	【Ⅲ多様な学び】 市民の自主的な学習活 動の支援と協働による コミュニティづくり	<p>協働によるまちづくり審議会でも、住民の力量形成や町内会運営につ いてなど、当該施策と同じような話題があがり、これらと当該施策は 表裏一体の関係にある。現在、当該施策の計画事業は、子ども向けの 事業やイベントに偏っているので、充実化をしてほしい。</p>

No.	施策	意見・提言内容
1 4	【Ⅲ多様な学び】 文化財を活用した学習等の充実	博物館などはほとんどすべて津軽藩についてのもの（いわゆる政治史）であり、近代建築は多く残されているもののそれらについての学びの機会は乏しいので、次期総合計画に向けて、軍隊、キリスト教（宣教師）、学校など「弘前の近代史」についてもアプローチする視点を持ってほしい。
1 5	【Ⅲ多様な学び】 文化・芸術活動の推進 【Ⅲ多様な学び】 スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・財源の問題もあると思うが、文化・スポーツ活動のプレーヤーの底上げのため、子どもの遠征費などの補助の拡大を検討してほしい。 ・全国的にひきこもりや貧困家庭など、費用の問題で遠征に行けない子どもがいるという現状もあるので、貧困家庭への支援について次期総合計画で検討が必要。 ・部活とスポーツ少年団は移行期にあり、部活もスポーツ少年団もうまく進んでいない面があるので、うまく連携させて進めてほしい。また、少年少女スポーツの活発化の課題をしっかりと当該施策に位置づけるべきである。 ・今後人口減少が進む中で、子どもたちがスポーツをやるためには教育自立圏を越えて中学校区が連携して、文化・スポーツ環境をつくることも必要になってくるのではないか。

②分野別政策 くらしづくり 意見・提言内容

No.	施策	意見・提言内容
1	【Ⅰ健康】 がん対策の強化及び生活習慣の見直し支援	健康づくりサポーターの市民やひろさき健やか企業、そして弘前大学など産学官民が連携協力して、健康づくり活動が推進される必要がある。また、どこに財源をかけるかとなれば、弘前市民の命が最優先。健診、受診率をどんどん高めていかなければならない。これらの根っこは、健康教育から始まる。そことの連携が重要。
2	【Ⅰ健康】 救急医療提供体制の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・病院では、症状がないのに不安を抱えて受診する高齢者がいるという実態がある。孤独を解消するという時間がかかる課題でもある。高齢の方だけでなく子育てで不安を抱えている方などもいる。市立病院には1名のソーシャルワーカーが配置されているが、3～4名のソーシャルワーカーの配置をお願いしたい。病院に来たということは一つのサインであるので、病院から始まる支援の在り方について、検討していただきたい。 ・市では保健師が不足しており、健康増進リーダーやサポーターが借り出される実態があるため、保健師の人材の充実が必要。
3	【Ⅱ福祉】 介護予防の推進	現場で担当している福祉関係従業員の意見を反映させる恒常的な場が必要。

4	【Ⅱ福祉】 自立支援介護の推進	指標を「取り組む事業者数」ではなく、要介護度が改善した高齢者の数や割合で見た方が具体性がある。
5	【Ⅱ福祉】 高齢者の社会参加・生きがいがづくりの促進	指標の実績を見れば、B評価ではなくC評価ではないのか。また、「生き甲斐」をもっているかと大上段から質問されても答えにくい。むしろ楽しく生活しているかどうかをきいた方が答えやすいのではないか。指標の見直しについて、担当課が考えているのであれば、二次評価案で良しとする。
6	【Ⅱ福祉】 障がい者の地域生活移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援は入所施設で暮らす方々だけのものではない。地域で親と同居している障がい者の方が多いのではないだろうか。その親も高齢となり、面倒をみるのが難しくなっている。「8050問題」もあり、決して十分に達成されているとは言えない。地域移行は住まい、日中活動（就労）、余暇と様々な要素があるので、総合的かつ具体的な目標を示して取り組んでほしい。 ・指標を「地域生活移行支援事業等の利用者数」から「地域生活へ移行した障がい者数」に変更するとのことだが、『地域生活へ移行』というのは、どこからどこへ移行するのがよいのか。病院・施設から地域移行なのか、地域に生活していて親元から離れて自分の生活を獲得した障がい者なのか。40代50代の障がい者が、親亡き後、どこで生活するのか。施設に入るのか、地域でグループホームを増やしていくのか。地域移行は、どこからどこにという視点が重要。個々に寄り添った支援がこれからは必要となってくる。
7	【Ⅱ福祉】 生活保護制度の適切な運用 【Ⅱ福祉】 生活保護世帯の自立・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護業務を総合計画に掲載しないとの一次評価から、生活保護に関する施策が全てなくなるものと理解していたが、説明を聞いて、次期総合計画に掲載されるということなので、そこで確認したい。生活保護の基準が今年10月から変更となり、厳しくなる。子どもの教材費の問題など、生活保護費は暮らしを大きく支えている部分なので、生活保護に関する評価は抜いてはいけけないのではないかと。指標をつけにくいという観点もあるが、最終的なセーフティネットの評価がまったく抜けてしまうというのは、少し心配だったため、意見を-outさせていただいた。 ・生活保護を受けている人が脱却するための支援が必要。生活保護を受けると、そこから抜けられなくなる人も多い。なる前の支援も必要だが、なつてからの支援も必要であり、そこも計画に載せないといけけない。 ・生活保護の制度は非常に重要であり、総合計画から抜けるというのは気になっている。なくしてしまうのではなく、生活保護についての項目をどこかに残してほしい。生活保護に関する現状と課題についても掲載してもらいたい。

③分野別政策 まちづくり 意見・提言内容

No.	施策	意見・提言内容
1	【Ⅰ雪対策】 快適な住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪の質の課題もあるので、除雪人材の確保、除雪技術の向上などに取り組んでほしい。 ・道路・歩道における融雪設備等の整備・無散水融雪の実証研究業務の結果が次期総合計画に生かされるよう取り組んでほしい。
2	【Ⅰ雪対策】 市民相互による細やかな除雪への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・町会単位だけではなくもう少し連携して進めてほしい。 ・弘前市には学生が多くいるので除雪アルバイトとしての雇用なども検討してほしい。 ・シェアリングエコノミーについては、調査の結果を踏まえて今後の展開につなげてほしい。期待している。
3	【Ⅱ都市環境】 快適な住環境の整備	弘前市公営住宅等長寿命化計画について、環境の視点やエネルギー、震災など近年の課題を見据えて策定してほしい。
4	【Ⅱ都市環境】 利活用による空き家・空き地の解消	空き家を住居だけではなくほかの活用方法も含めて検討することは意義がある。耕作放棄地対策の取組とも組み合わせも検討してほしい。
5	【Ⅱ都市環境】 公園・緑地等の整備	弘前公園の整備には観光の視点も必要であるので、次期総合計画ではその点を踏まえた取組を検討してほしい。
6	【Ⅱ都市環境】 景観・街並みの保全	<ul style="list-style-type: none"> ・城下町の街並みを維持するためにはそこで生活する人、商いを行う人がいて日常的に使用されていることが必要であるため、空き家対策やなりわい分野とも連動させた取組を検討してほしい。 ・物理的に建造物を保存するだけでなく、ドローンなどを使用して動画としても今の時代の景観や街並みを保存するなど、今以上に積極的に取り組んでほしい。
7	【Ⅲ生活基盤】 交通安全設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の白線が消えている個所が近年多い気がする。交通安全対策として必要だが、将来的には車の自動運転に影響することもあると考えられるのでしっかり対応してほしい。 ・道路のユーザーは生活している市民だけではない。観光客の視点も大事である。観光客が事故にあって危険な街だというイメージが広がっても困る。観光客にやさしい道路づくりというのがあってよいと思う。 ・市民が要望しても安全対策が後回しになっている通学路などが市内にはあると思うが、予算がないからとかでなく、検討の余地を残してもらうような施策を検討してほしい。
8	【Ⅲ生活基盤】 交通ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・パークアンドライド事業の廃止理由として、民間駐車場で対応可能と評価しているが、具体的な対応が見えないのでしっかりと検討する必要がある。 ・地元大学の研究室でもさくらまつり期間の駐車場の空き情報を発信する取組を行っていたので、そういう動きも取り込んでほしい。

9	【Ⅲ生活基盤】 災害に強い水道施設の構築	震災があったときに整備計画が間に合っているよう、よりいっそう施設の整備に取り組んでほしい。
10	【Ⅲ生活基盤】 運営基盤の強化	いろんな視点で無駄がないか点検し、健全な財政運営に努めてほしい。
11	【Ⅳエネルギー・環境】 ごみ減量・資源化の強化	ごみ問題だけ単独で考えるには限界があるので、多面的な視点から検討を進めてほしい。例えば、「ごみ分別促進アプリ」などは若い人に有効であり、町会の情報なども流せば町会活動への関心も高まる。

④分野別政策 なりわいづくり 意見・提言内容

No.	施策	意見・提言内容
1	【Ⅰ農林業振興】 日本一のりんご生産量の確保	一次評価から、取り組みが自然災害への対応策に留まり、「省力化、低コスト化に向けた取り組みを支援」についてはほとんど取り組みがみられないと読み取ったが、説明により「省力化、低コスト化」について対応されていることがわかった。次期総合計画に向けて、自然災害の他、省力化やICTの活用、農業従事者の確保などを含め、多面的に取り組んでほしい。
2	【Ⅰ農林業振興】 国内における農産物の消費拡大及び販路開拓	りんごの消費拡大についての取組が行き詰まっている感じがあるので、次期総合計画に向けてりんご×観光といった異業種との組み合わせによる付加価値の向上や美容・ダイエット・健康維持などりんごの多様な活用方法のPR等も視野に入れて取り組んでほしい。
3	【Ⅰ農林業振興】 新たな担い手の育成・確保	・りんご産業イノベーション事業で、AI等の技術導入が図られているということはよい。「経験がものをいう」のではなく、ノウハウを早いうちに可視化、継承する必要がある。日本のロボット産業が優れているのは、かつて職人の技術をロボット化した経緯がある。 ・新規就農者への支援については、同じ業界で集まっても視野が狭まることもある。異業種との関わりなども重要。
4	【Ⅰ農林業振興】 りんご産業イノベーションの推進	新規就農の参入障壁を下げるために経験と勘を、時間をかけて教える取組だけでなく、ICT活用により見える化を進め、新規就農がしやすい環境も作る必要がある。経験と勘を持つ人材が減っていくことが見込まれることから、今のうちに経験と勘をプログラム化しておく必要がある。次期総合計画に向けて、多面的に取り組んでほしい。
5	【Ⅱ観光業振興】 弘前らしい魅力ある観光コンテンツの企画推進	集客が経済効果につながっていないという課題や、宿泊施設の限界という課題がある。次期総合計画に向けて客単価を伸ばす取組を一層進めてほしい。

No.	施策	意見・提言内容
6	【Ⅱ観光業振興】 岩木山観光等の推進	戦略システムの施策「岩木地区・相馬地区の活性化の推進」との連携した取組について、次期総合計画では検討してほしい。
7	【Ⅱ観光業振興】 観光情報の効果的な発信	情報発信には課題があるので、次期総合計画に向けて「弘前市のアピール」ではなく「弘前市では何が体験できるのか、何が学習できるのか」といったことをまずは打ち出すような取組を進めてほしい。
8	【Ⅱ観光業振興】 滞在型・通年観光の推進	イベント以外の取組、例えば農業体験などができる「りんご×観光」という新しい視点での発想で取組を進めてほしい。
9	【Ⅱ観光業振興】 観光施設等の整備・維持管理	観光客の受入を考えた場合、施設だけでなくレンタサイクルの利用者が安全に回れるまちづくりなど、道路、歩道の整備なども合わせて考える必要があると思われるので、次期総合計画に向けては多面的な視点での取組を検討してほしい。
10	【Ⅱ観光業振興】 国外への情報発信及び受入環境の整備促進	<p>・次期総合計画に向けて「インバウンド客」向けのコンテンツの充実の取り組んでほしい。環境整備としては、キャッシュレス化が進んでいる現状を踏まえ、スマホ決済ができる環境作りを進めてほしい。また、パンフレットの作成も日本語版の翻訳に留まらず、各国のインバウンド客の嗜好を取り入れた外国人目線のものを作ってほしい。</p> <p>・一次評価では「民間事業者が参画しやすいような」とあるが、民間でも調整区域など規制があって、うまく事業展開できない。調整区域は、40年50年も経過して形骸化しているように感じる。城東地域が栄えているが、北側も重点的にやらないと弘前が総合的に発展していかない。</p>
11	【Ⅲ商工業振興】 重点3分野の強化	弘前は、りんごの一次産業や観光の三次産業が目立っているが、世界に誇れる企業もあるので二次産業もしっかりPRする必要がある。地域に住んでいる高校、大学生にそういった企業を知ってもらい、将来の一つとして考えてもらいたい。
12	【Ⅲ商工業振興】 重点関連産業等の企業誘致	次期総合計画に向けてIT系企業の誘致については空き家対策と連携した取組を検討してほしい。また、既存事業者への対策が手薄になって市外に転出しないような対応も進めてほしい。
13	【Ⅲ商工業振興】 魅力ある商業地域の形成	<p>・次期総合計画に向けてはキャッシュレス化への対応が促進される取組も進めてほしい。</p> <p>・観光施設等と回遊性を持たせて中心市街地に人が流れるよう観光部門とも連携して事業を推進してほしい。また、増加している外国人観光客の対応について、F I Tと呼ばれる小グループ観光客の受け入れ対応や鍛冶町等の冬場の雪対策など総合的な取組が、中心市街地の観光消費額の向上に直結すると思われるので、関係課や関係団体と連携して取り組んでほしい。</p>

No.	施策	意見・提言内容
14	【Ⅲ商工業振興】 販売力の強化	様々なブランド化を推進していくことも商活動の活性化には重要であると感じるので強く進めていただきたいと共に、DMOを含めて、各企業や団体等もブランド化に積極的に取り組めるような応援体制や仕組みづくりも一考いただきたい。
15	【Ⅲ商工業振興】 創業・起業への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる創業・起業を増やすためにプチ起業なども視野に入れた支援に取り組んでほしい。 ・スキル上の支援だけでなく、心理的サポートができるようメンター制度の導入や、起業家や起業家希望者のネットワーキングの場を創出について検討してほしい。 ・現在は若年者や女性もどんどん起業に対して積極的な社会になっているので、人口減少対策としてUターン・Iターンなども含めた都市部の人材や近隣の市町村の人材、また地元出身の有能な若手が地元に残れるような応援体制や、仕組みづくりを関係機関と調整しながら推進してほしい。
16	【Ⅲ商工業振興】 経営力の向上	景気は上向きと言われているが、依然、小規模事業者にとって経営は厳しい状況であるので、様々な支援・融資制度を継続してもらいたい。
17	【Ⅲ商工業振興】 若年者や女性の就職支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地元就職者に対しては奨学金返済の一部を補助するような仕組みを設けている自治体もある。そういった自治体の例にも学びながら、次期総合計画では地元就職率の向上策を検討してほしい。学生の借りている奨学金には、様々なタイプがあるので、すべてを支援してほしいというわけではなく、パターンに応じた奨学金返済支援策を考えてほしい。大学生だけでなく、高校生もこういった支援策に注目している。 ・企業は人手不足で悩んでいる。面接だけでは、人物を見抜くことはできない。すぐに辞める人もいる。市がかつて実施したジョブトレは、6か月の補助期間だったが、3か月でも1か月でもいいので、ジョブトレのようなお試しで働く事業を実施していただきたい。

⑤分野別政策 戦略推進システム 意見・提言内容

No.	施策	意見・提言内容
1	【ビッグデータ・オープンデータを活用した地域経営】 新たな地域経営の推進体制づくり	とくにオープンデータの取組は県内でも進んでおり、評価できる。今後は、データの公表だけでなく、これらの活用に関する取組を充実してほしい。例えば、ゴミアプリなどは有効なツールなので、それらをどのように市民が活用してくのか、普及活動に力を入れる取組などを進めてほしい。

No.	施策	意見・提言内容
2	【ビッグデータ・オープンデータを活用した地域経営】 情報の収集分析力の高度化	調査員の担い手確保の課題や回収率の低下の課題があることから、アンケートの実施方法（インターネットなどを利用して若い人もアンケートに参加できるようにするなど）やアンケートの分量などの検討を進め、アンケート実施の環境が向上されるような取組を行ってほしい。
3	【Iオール弘前体制の構築】 広報の充実	若年層などが広報誌を見ていないなどの課題もあることから、広報誌の紙媒体での個配についての検討にあわせて、アプリの活用なども検討してほしい。
4	【Iオール弘前体制の構築】 シティプロモーションの推進	単発のイベントで終わることなく、息の長い取組によるブランディングに取り組んでほしい。
5	【Iオール弘前体制の構築】 市民協働、官民連携の推進	市民協働、官民連携を進めていく中で、地域の人・市民が「弘前市協働によるまちづくり基本条例」を認識していないことが多いと思う。市民へのさらなる周知が必要。市から条例に基づいて市民協働を推進するというところをもっとアピールしてほしい。
6	【Iオール弘前体制の構築】 地域コミュニティの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の加入率が高まらないという課題があるので、町会の活動が、未加入者にも見えるような取組を進めてほしい。現状では、町会の活動は加入者にしか見えておらず、町会未加入者には見えていない。そのため、活動の見える化を進める必要があると思われる。とくに若年層にはアプリの活用も考慮すべきだと考えられる。さらに、町会はそのエリアに住んでいる人を対象としているが、町会の定義を広げ、そのエリアにある高校や大学、企業との連携も視野にした新しい町会のあり方を今後検討してほしい。 ・防災の観点からも町会のあり方を検討する必要があると思われるので、町会単位での取組から転換し、さまざまな取組と連携することを検討してほしい。
7	【Iオール弘前体制の構築】 大学・研究機関等との連携の推進 【Iオール弘前体制の構築】 学生力の強化	大学との連携にとどまらず、地域課題を把握している市がもっと踏み込んで主体的にプレーヤーとしてプロジェクトに入って取り組んでいく姿勢を強く打ち出してほしい。
8	【Iオール弘前体制の構築】 多文化共生・国際交流の推進	国際交流にとどまらず、ソーシャルインクルージョンの視点から、障害者、外国人など多様な人との共生も含めた取組を行ってほしい。また県外出身者、移住者が移住しやすい環境づくりも重要であるので、総合的に取り組んでほしい。

3 弘前市経営計画マネジメントシステムによる二次評価（案）

市長ヒアリング及び弘前市総合計画審議会の意見を踏まえた各施策に対する二次評価（案）は、以下のとおりとする。

なお、二次評価（案）のうち、弘前市総合計画審議会の審議を受け、

①弘前市総合計画審議会委員からの意見を反映した部分は、下線で表記

②第3・4回弘前市総合計画審議会の審議により修正した二次評価（案）は、欄を灰色で表記している。

今後、二次評価に基づき、予算編成及び次期弘前市総合計画の策定に向けた施策・事務事業の立案・検討を行うこととする。

分野別政策 ひとつくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
I 子育て	1 弘前っ子の誕生	1) 婚活の応援	B	一次評価のとおりとするが、 <u>指標の達成により有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、婚姻を取り巻く状況や課題について多方面から検討を進めること。</u>
		2) 多様な母子保健サービスの提供	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	2 子育てに係る負担の軽減	1) 保育サービス・幼児教育の充実	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 経済的支援の充実	A	<u>次期総合計画策定に向けて、国や県の取組の方向性をふまえ、子育て世帯全体の経済的支援について有効な取組となるよう、検討を進めること。</u>
	3 笑顔あふれる子育て環境づくり	1) 子育て・子育てへの多様な応援	A	一次評価のとおりとするが、 <u>ワーク・ライフ・バランスの推進については、国や県でも取り組んでいるが、市としても地域全体での動きとなるよう関係機関と連携し、より有効な取組となるよう検討すること。</u>
		2) 様々な環境にある子どもや子育て家庭への支援の充実	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
II 子どもの学び	1 社会を生き抜き、未来をつくる弘前っ子の育成	1) 豊かな心を育成する教育活動の充実	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 健やかな体を育成する教育活動の充実	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向けて、児童生徒のスポーツ環境の向上についての取組を本施策に位置づけること。</u>

分野別政策 ひとつづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
II 子どもの学び	1 社会を生き抜き、未来をつくる 弘前っ子の育成	3) よくわかる授業づくりの推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向けて、施策の達成度を測るより適切な指標を検討すること。</u>
		4) 学力の向上に向けた取組の推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向けて、施策の達成度を測るより適切な指標を検討すること。</u>
		5) 時代に対応する教育の推進	A	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向けて、学校教育と社会教育を連携させた学びの場づくりについてより有効な取組となるよう、検討を進めること。</u>
		6) 生きる力を育む地域活動の支援	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		7) 豊かな情操と夢を育む事業の展開	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向けて、各事業の改善を図るほか、学校教育と社会教育を連携させた学びの場づくりについてより有効な取組となるよう、検討を進めること。</u>
		1) 学校・家庭・地域が共に支える環境づくり	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	2 学びと育ちの環境の充実	2) 共生社会に向けた教育基盤の確立	B	一次評価のとおりとするが、 <u>本施策を推進するうえで、より適切な指標となるよう、次期総合計画策定において変更を検討を図ること。</u>
		3) 指導力を高め、自己目標を実現する教員の育成	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		4) 教育課題の解決を目指す研究活動の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		5) 学習意欲を引き出す学びの環境の確保	A	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向けて、学校教育と社会教育を連携させた学びの場づくりについてより有効な取組となるよう、検討を進めること。</u>
		6) 就学等の支援	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 ひとつづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
Ⅲ 多様な学び	1 学び合い 支え合う生涯 学習活動の推 進	1) 生涯学習 推進体制の充 実	A	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向け</u> <u>て、より多様な世代を対象とした取組を進めるほか、学</u> <u>校教育と社会教育を連携させた学びの場づくりについて</u> <u>より有効な取組となるよう、検討を進めること。</u>
		2) 社会教育 施設等の整備 と効果的な運 営	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向け</u> <u>て、社会教育施設等の利活用が図られるよう、施設への</u> <u>アクセスについて関係部局と連携して検討を進めるこ</u> <u>と。</u>
		3) 生涯学習社 会を目指す多様 な学習機会の創 出と提供	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよ う、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		4) 市民の自主的 な学習活動の支援 と協働によるコ ミュニティづくり	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向け</u> <u>て、本施策に位置づける事業について再検討すること。</u>
	2 郷土弘前 を愛し、自然 や歴史・文化 財を守る心の 醸成	1) 文化財 情報の公開・ 発信の充実	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよ う、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 文化財を 活用した学習 等の充実	A	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向け</u> <u>て、それぞれの時代の歴史や文化を総合的に学ぶ機会の</u> <u>創出について有効な取組となるよう、留意して取り組む</u> <u>こと。</u>
		3) 地域に根 ざした文化遺 産の保全と伝 承	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよ う、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	3 文化・ス ポーツ活動の 振興	1) 文化・芸 術活動の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよ う、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) スポー ツ・レクリ エーション活 動の推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画策定に向け</u> <u>て、児童生徒のスポーツ環境の向上についての取組を本</u> <u>施策に位置づけること。</u>
		3) 文化・ス ポーツ関連施 設の整備・活 用	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよ う、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		4) 東京オリ ンピック・パラ リンピック向け た活動の推進	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよ う、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 くらしづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
I 健康	1 生活習慣病発症及び重症化の予防	1) がん対策の強化及び生活習慣の見直し支援	C	一次評価のとおりとするが、 <u>産学官民が連携協力して、健康づくり活動が推進されるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2 ことごとからだの健康づくり	1) ヘルスリテラシー（健康教養）の醸成	B
	2) 社会環境の整備		B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	3 地域医療提供基盤の充実・安定化	1) 救急医療提供体制の維持	A	一次評価のとおりとするが、 <u>中核病院の整備においては、患者やその家族の心のケアを図るため、相談体制を充実させるなど、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 市立病院の健全な運営	D	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	II 福祉	1 高齢者福祉の充実	1) 介護予防の推進	B
2) 自立支援介護の推進			A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
3) 介護サービスの適正給付の推進			B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
4) 高齢者の社会参加・生きがいの促進			B	<u>指標の実績を見ると、目標値を下回っていることから、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。また、指標についてはよりの確な指標となるよう、検討すること。</u>
5) 地域ケアの推進			A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
2 障がい者福祉の充実		1) 障がい者の日常生活支援	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 くらしづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
II 福祉	2 障がい者福祉の充実	2) 障がい者の就労支援	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) 障がい者の地域生活移行支援	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	3 生活保護世帯の自立支援の充実	1) 生活保護制度の適切な運用	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 生活保護世帯の自立・就労支援	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	4 自立・就労支援の充実	1) 生活困窮者及び就労困難者等の自立・就労支援	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	III 安全・安心	1 危機対応力の向上	1) 地域防災力の強化	B
2) 地域消防力の強化			B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
2 災害対策のための基盤の強化		1) 災害対策のための都市基盤の整備	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 建築物の耐震化の促進	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
3 安全・安心な生活環境の確保		1) 安全・安心な地域づくりの推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 生活相談体制の強化	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 まちづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
I 雪対策	1 冬期間における快適な道路環境の形成	1) 快適な道路環境の維持	B	<u>雪対策全体の質の向上が図られるように、一次評価のとおり、民間のノウハウを活用する等、効果的な除排雪方法や運営手法の検討を進めること。</u>
		2) 快適な道路環境の整備	B	<u>融雪等の雪処理施設について、これまでの融雪等に係る実証実験の成果を活用しながら、低コストの再生可能エネルギーの活用による道路融雪施設等の適切な維持管理及び整備を進めること。</u>
	2 地域一体となった新たな除雪体制の構築	1) 市民相互による細やかな除雪への支援	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、 <u>シェアリングエコノミーなど官民連携による効果的な雪対策の検討を進めること。</u>
		2) 身近な除雪環境の整備	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
3 雪対策イノベーションの推進	1) 新たな雪対策の開発	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、現在想定している取組み以外についても引き続き検討を進めること。	
II 都市環境	1 快適な都市空間の形成	1) 良好な市街地の形成	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 快適な住環境の整備	C	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) 利活用による空き家・空き地の解消	B	一次評価のとおりとするが、 <u>特に利活用が難しいとされる郊外の空き家について、農地付きでの空き家バンク登録を進めるなど、次期総合計画策定に向けてより有効な取組となるよう検討を進めること。</u>
		4) 公園・緑地等の整備	B	一次評価のとおりとするが、 <u>弘前公園は市民の憩いの場であるとともに、多く文化財が現存しさくらまつりが開催されるなど重要な観光資源でもあり市民の誇りとして次世代へ大切に継承していく必要があるため、次期総合計画では弘前公園の整備に特化した施策を新たに設けることとする。</u>

分野別政策 まちづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
Ⅱ 都市環境	2 魅力あふれる弘前づくりの推進	1) 景観・街並みの保全	B	一次評価のとおりとするが、特に城下町の街並みを形成する歴史的建造物については、今後も適切に保全するための方策の一つとして、建物の価値や歴史的背景を十分踏まえながら有効に活用されていくよう、商工や観光分野とも連携して施策を進めること。
		2) 拠点地域の整備	C	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) 弘前公園周辺等の魅力向上	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	3 文化財の保存と整備	1) 文化財の保存と管理	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 文化財の整備の推進	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	Ⅲ 生活基盤	1 道路網・道路施設の整備と維持管理	1) 道路網の整備	B
2) 生活道路の補修			B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
3) 橋梁の補修			B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
4) 歩道の改修			B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
2 道路環境の安全性の向上		1) 交通安全対策の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 まちづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
Ⅲ 生活基盤	2 道路環境の安全性の向上	2) 交通安全設備の整備	B	一次評価のとおりとするが、 <u>近年レンタサイクルを利用する観光客なども増えてきていることから、市民への配慮に加え観光客等にも留意し、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
	3 公共交通の利便性の向上	1) 交通ネットワークの形成	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	4 安全・安心な上下水道の整備	1) 安心・快適な給水の確保	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 災害に強い水道施設の構築	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) 下水道施設の整備	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		4) 下水道施設の維持管理	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	5) 運営基盤の強化	A	一次評価のとおりとするが、 <u>今後も効率的な経営に努め、しっかりとした運営基盤のもとで各施策が実施されるよう検討を進めること。</u>	
Ⅳ エネルギー・環境	1 エネルギー政策の推進	1) 弘前型スマートシティ構想の推進によるエネルギーの自給率向上と効率的利用の推進	B	一次評価のとおりとするが、市民にも理解が広がるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 省エネルギーの推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	2 自然環境の保全・活用	1) 環境保全活動の推進	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 まちづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
IV エネルギー・環境	3 生活環境の維持	1) 良好な生活環境の確保	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) ごみ減量・資源化の強化	B	一次評価のとおりとするが、 <u>様々な方策を検討し「市民運動」として市全体で取り組まれ、市民一人一人が何をやればよいのかわかりやすくなるように検討し進めること。</u>

分野別政策 なりわいづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
I 農林業振興	1 農産物等の生産力の強化	1) 日本一のりんご生産量の確保	A	一次評価のとおりとするが、 <u>次期総合計画においては、りんごの生産力強化に向け、省力化やICTの活用を推進するりんご産業イノベーションの施策やりんごの消費拡大を推進する施策、新たな担い手を育成する施策と連動し、より有効な取組となるよう検討を進めること。</u>
		2) りんご以外の主要農産物の生産力の強化	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	2 農産物等の販売力の強化	1) 国内における農産物の消費拡大及び販路開拓	B	一次評価のとおりとするが、 <u>生産者がキャラバンに参加し、消費者の生の声を聞く機会を増やしたり、美容・健康などりんごの多様な活用方法をPRしたりするなど、りんごの消費拡大に向け、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u> また、キャラバンについては、市主体ではなく、民間が自走できるよう、事業を進めること。
		2) りんご等の輸出の強化	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	3 担い手の育成と経営安定化に向けた支援	1) 新たな担い手の育成・確保	B	一次評価のとおりとするが、 <u>新規就農の参入障壁を下げることを目的としたAI等の技術導入を進めるなど、より新たな担い手の育成が促進されるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 農家等の収益体質の向上及び経営安定化に向けた支援	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	4 農業の新たなチャレンジ	1) 企業との契約栽培の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 競争力向上のための農産物及び加工品の高付加価値化	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) りんご産業イノベーションの推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>新規就農の参入障壁を下げることを目的としたAI等の技術導入を進めるなど、「担い手育成」に係る施策と連動し、より新たな担い手の育成が促進されるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>

分野別政策 なりわいづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
I 農林業振興	5 農林業基盤の整備・強化	1) 農地等の生産基盤の維持・改善・有効活用	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 耕作放棄地の防止と再生	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) 森林の保全と活用	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
II 観光振興	1 観光資源の魅力を強化	1) 弘前らしい魅力ある観光コンテンツの企画推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>地域課題としてあげられた「集客がさほど経済効果につながっていない」という課題に対応するため、次期総合計画策定に向けては、本市が弱いとされる秋季・冬季の宿泊者数の増加や観光消費額の増加が図られる取組を実践すること。</u>
		2) 岩木山観光等の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	2 戦略的な誘客活動の展開	1) 観光情報の効果的な発信	B	一次評価のとおりとするが、 <u>単に観光資源の紹介に留まるPRやCMを打つ手法ではなく、メディア活用について戦略性を持って取り組むとともに、実際に宿泊に繋がるアプローチや事業者との連携の仕組みづくりなど、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 滞在型・通年観光の推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>イベント中心ではなく、文化財やりんごなど魅力ある観光資源を活用して、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
	3 観光客受入環境の整備促進	1) 観光ホスピタリティの向上	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 観光施設等の整備・維持管理	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 なりわいづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
II 観光振興	4 広域連携による観光の推進	1) 広域圏の観光施策の充実と観光情報発信の強化	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	5 外国人観光客の誘致促進	1) 国外への情報発信及び受入環境の整備促進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>インバウンド客向けのコンテンツの充実に向け、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
III 商工業振興	1 地域を牽引する産業の育成	1) 重点3分野の強化	B	一次評価のとおりとするが、 <u>指標が目標値を下回っている原因をしっかりと検証したうえで、引き続き重点分野の産業振興を図るとともに、将来の弘前市の産業を担う人材育成の観点から、小・中・高生や大学生が弘前市の企業や産業について学ぶ機会を創出するなど、学生の地元就職に係る施策とも連動した取組について、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 重点関連産業等の企業誘致	B	一次評価のとおりとするが、 <u>製造業の企業誘致に加え、IT関連企業の企業誘致や市内に立地する企業の新增設を推し進めるための、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
	2 商活動の活性化	1) 魅力ある商業地域の形成	B	一次評価のとおりとするが、 <u>観光客の中心市街地への回遊性向上や近年増加している外国人観光客への対応など、観光振興部とも連携し、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 販売力の強化	C	一次評価のとおりとするが、 <u>地元産品のブランド化を推進しさらなる販路開拓・拡大につながるよう、関係機関とも連携し、次期総合計画策定に向けて、より有効な取組について検討を進めること。</u>
	3 経営力の向上	1) 創業・起業への支援	B	一次評価のとおりとするが、 <u>地元出身の若手が地元で創業・起業できるような仕組みづくりや支援体制、情報発信を関係機関と調整しながら推進するとともに、起業家や起業希望者のネットワーキングの場を創出することにより、さらなる創業・起業者数の増加につながるような取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 経営支援・融資制度	C	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 なりわいづくり

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
Ⅲ 商工業振興	4 雇用・就職支援の充実	1) 若年者や女性の就職支援	B	一次評価のとおりとするが、小・中・高生や大学生が技術力のある地元企業を知る機会を増やすための取組や高齢者の就業を後押しし、地元企業の労働力不足を解消させる仕組みづくりを行うなど、次のステージにランクアップさせるような取組について検討すること。また、商工業だけでなく他の部署をコーディネートし、各分野における担い手確保や人材育成にも取り組むこと。 <u>大学生の地元就職については商工会議所や大学等関係機関との連携をより深め、有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		2) 出稼労働者の安定就労	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 戦略推進システム

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
ビッグデータ・オープンデータを活用した地域経営	1 ビッグデータ・オープンデータの活用	1) 新たな地域経営の推進体制づくり	B	一次評価のとおりとするが、 <u>データがより有効に活用されるように、特に活用の普及啓発について、検討を進めること。</u>
	2 情報収集・分析力の高度化による効率的な地域経営	1) 自治体内シンクタンクの設置	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 情報の収集分析力の高度化	B	一次評価のとおりとするが、 <u>アンケート等の実施方法などの様々な課題の解決に向けて、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定において、検討を進めること。</u>
I オール弘前体制の構築	1 市民対話の促進と情報発信力の強化	1) 広聴の充実	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 広報の充実	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、 <u>広報誌の毎戸配布の検討に併せてアプリの活用に係る周知について検討を進めること。</u>
		3) シティプロモーションの推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>単発のイベントとならないよう、より有効な取組となるようにするとともに、成果指標の変更を含め、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
	2 協働による地域づくりの促進	1) 市民主体の地域づくりの推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 市民協働、官民連携の推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>より有効な取組となるようにするとともに、協働によるまちづくり基本条例の理念の掲載を次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
		3) 地域コミュニティの強化	B	一次評価のとおりとするが、 <u>多様化する地域の中で、各町会のニーズに対応した課題解決に向けて、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定において、検討を進めること。</u>
	3 大学・研究機関等との連携の推進	1) 大学・研究機関等との連携の強化	B	一次評価のとおりとするが、 <u>より有効な取組となるよう、大学との連携のみならず、今後はさらに地域の課題解決に向けて連携を強化していくこと。</u>
		2) 学生力の強化	A	一次評価のとおりとするが、 <u>より有効な取組となるよう、大学との連携のみならず、今後はさらに地域の課題解決に向けて連携を強化していくこと。</u>

分野別政策 戦略推進システム

政策	政策の方向性	施策	一次評価	二次評価（案）
			達成度	
I オール弘前体制の構築	4 男女共同参画の推進	1) 男女共同参画に関する意識の普及・定着	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		1) 多文化共生・国際交流の推進	B	一次評価のとおりとするが、 <u>国の地域共生社会の実現を目指した取組に併せて、外国人、障がい者、移住者などを含めた総合的な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。</u>
	5 多様性を受け入れる気風の醸成	2) 友好都市交流のさらなる充実	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
II 強い行政の構築	1 市役所の仕事力の強化	1) 組織体制の適正化等	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 業務の効率化・適正化	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		3) 第三セクターの経営改善等	D	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		4) 職員力の向上	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	2 合併効果の最大化及び他自治体との連携の推進	1) 広域行政の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 岩木地区・相馬地区の活性化の推進	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
	3 健全な財政運営の推進	1) 安定した財政運営	A	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。
		2) 公共施設の適正管理	C	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。

分野別政策 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（移住対策・抜粋）

施策	一次評価	二次評価（案）
	達成度	
弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略 【移住対策】（抜粋）	B	一次評価のとおりとするが、より有効な取組となるよう、次期総合計画策定に向けて、検討を進めること。